

施設名称:大阪府立水都国際中学校・高等学校		指定管理法人:学校法人大阪YMCA				指定期間:令和4年4月1日～令和11年3月31日			所管課:大阪府教育庁教育振興室高校改革課	
評価項目	評価基準		指定管理法人の自己評価		総括評価	所管課の評価		総括評価	評価委員会の指摘・提言	
			評価 S～C		S～C		評価 S～C	S～C		
1	人的管理	(1)法令等に基づく教職員の配置ができていますか(法令、協定書等に基づく必置の教職員について、適切に配置できていますか)	必置の教職員を適切に配置している。	A	A	法令、協定書等に基づく必置の教職員について、適切に配置されている。	A	A		
		(2)法令等に基づく教職員の要件を満たしているか(担当校種・教科ごとの有効な教員免許状の所持、必要な外国人教員の配置など、法令、協定書等の要件を満たしているか)	担当校種・教科ごとの有効な教員免許状の所持、必要な外国人教員の配置など、法令、協定書等の要件を満たしている。	A		担当校種・教科ごとの有効な教員免許状の所持、外国人教員の配置など、法令、協定書等の要件を満たしている。また、教員採用時の犯罪歴の確認について、適切に行われた。	A			
		(3)教職員の勤務労働条件は適切か(外国人教員への必要な優遇措置、労働基準法の遵守など、適切な勤務労働条件となっているか)	労働基準法の遵守、外国人教員への必要な優遇措置など、教職員の勤務労働条件を適切に整えている。	A		労働基準法の遵守、外国人教員への必要な優遇措置など適切な勤務労働条件が整備されている。	A			
		(4)教職員の研修等は適切に計画・実施されているか	各分掌ごとに研修の年間計画を策定し、体系的に実施している。また、大阪府教育センター主催の研修に参加するとともに、国際バカロレア機構が実施するワークショップやカンファレンスには15名が参加し、IBに対する理解の向上を図った。	A		IB認定校として必要なワークショップに参加するとともに、IB教育に関する校内研修を計画的に実施した。加えて、教育庁主催の研修にも参加し、府立学校の教職員としての研修にも力を入れた。	A			
		(5)教職員の服務管理は適切に実施されているか	服務規律に関する研修および管理職による定期面談を実施し、適切に管理している。また、大阪府教育センターに依頼し、10月にはハラスメント(法的定義・事例・リスク・予防策など)に関する研修を実施した。	A		随時注意喚起等が行われ、教職員の服務管理が適切に実施されている。	A			
2	物的管理	(1)管理施設の維持・管理状況(法令、事業計画書、協定書等に基づく施設の維持管理業務を漏れなく、求められた水準で適切に実施できているか)	管理施設の維持・管理は、求められた水準で適切に実施している。	A	A	施設の維持管理業務について、随時教育庁に報告が行われており、求められた水準で適切に実施されている。	A	A		
		(2)防犯・防災計画等の危機管理、事故防止等の安全対策は適切に実施されているか	防犯・防災計画を適切に立案し、危機管理、事故防止等の安全対策を適切に実施している。防犯・防災避難訓練を2回(4月・11月)実施した。	A		防犯・防災計画等の作成や避難訓練(年2回)等により、安全対策は適切に実施されている。また、大阪・関西万博に伴う混雑を踏まえ、生徒の通学時における安全確保を優先し、学校として大阪・関西万博TDMIに取り組んだ。	A			
3	生徒管理	(1)編成された教育課程に基づき、適切な学習指導が実施されているか(法令、協定書等に基づき、2教科以上の授業は英語を用いて実施、IBの要素を活用した教育実践などは適切に行われているか)	編成された教育課程に基づき、適切な学習指導を実施している。DPやMYPを実施する他校との交流を通じ、IBの要素を活用した教育手法の研究を継続している。また、IB認定校として各種コンテスト等への参加を推進し、多数の表彰を受けた。さらに、万博では19件の発表等に参画し、探究活動の充実を図るとともに、大阪で開催された世界中のYMCAのCEOが集う国際会議に本校生が参加し、世界的課題について議論した。	S	S	法令および協定書に基づく教育課程に準拠し、適切な学習指導を実施している。YMCAインターナショナルスクールとの交流を通じてIBの教育手法の研究を継続し、企業や大学との連携のもと、IB要素を活用した教育を学校全体で展開している。さらに、文部科学省主催のIBセミナーを同校で開催し、IB認定校としてさらなる教育の特色化を図った。	S	A		
		(2)採択教科書の使用や教材の決定等について、法令等に基づき適切に実施されているか(教科書の使用状況、教材の決定過程、保護者負担は適切か)	採択教科書の使用や教材の決定等について、法令等に基づき適切に実施している。	A		教科書の使用状況、教材の決定過程、保護者負担は適切に実施されている。	A			
		(3)生徒指導、進路指導は適切に行われているか(学校の教育活動全体として全ての教職員の協力のもと組織的に行われているか)	生徒指導では、生徒主体の取組を促進するため、生徒議会の月1回開催を継続した。進路指導では、海外進学や奨学金セミナー、キャリアガイダンスを複数回実施するとともに、大阪府政策企画部と連携した金融教育やメディアリテラシー教育を推進し、グローバル人材に求められる知識、モラル、発信力、キャリア観の育成を組織的に支援した。	S		生徒会活動や生徒議会を通じて、生徒主体による民主的な学校づくりを推進した。また、海外大学進学ガイダンスや企業及び大阪府庁等と連携した金融教育やメディアリテラシー教育を通じて、グローバル人材に求められるキャリア観の形成を促進し、国内外の大学等への進学に向けて、個に応じた進路支援を行った。	A			
		(4)生徒の健康診断や保健、安全衛生について、法令等に基づき適切に実施されているか	生徒の健康診断や保健・安全衛生については、法令等に基づき適切に実施している。また、生徒を対象に薬物乱用防止や性の多様性に関する講義を行い、教員を対象にYMCAや外部講師を招いた人権研修を実施するなど、学校における保健・安全衛生の向上に努めた。さらに、3月には大阪YMCAから派遣されているスクールカウンセラーによる、生徒理解と支援に関する校内研修を教員対象に実施する予定である。	A		法令等に基づいて、生徒の健康診断や保健、安全衛生について適切に実施されている。	A			
		(5)学校給食について、学校運営者が行うべき業務について適切に実施されているか	学校給食について、適切に実施している。	A		学校運営者が行うべき学校給食に係る業務について、適切に実施されている。	A			
		(6)個の特性に応じた支援体制を構築するなど、特別支援教育について適切に実施されているか	個々の特性に応じた支援体制を強化するため、大阪YMCAの専門部署から派遣されるスクールカウンセラーをフルタイムに拡充した。また、スクールソーシャルワーカーの週1日派遣を継続し、支援教育を適切に実施している。さらに、教員のカウンセリングマインド育成のため、3月には府立高校から本校に研修目的で派遣されている教員を講師として、生徒支援に関する校内研修を教員対象に実施予定である。	S		法人内の専門機関と連携し、常勤のスクールカウンセラーを学校に派遣することで、生徒一人ひとりに応じた支援を充実させた。また、スクールカウンセラーが生徒理解やカウンセリングマインドを高める校内研修を実施するなど、効果的な活用が予定されている。	A			

施設名称:大阪府立水都国際中学校・高等学校			指定管理法人:学校法人大阪YMCA			指定期間:令和4年4月1日～令和11年3月31日			所管課:大阪府教育庁教育振興室高校改革課		
評価項目		評価基準		指定管理法人の自己評価		所管課の評価		評価		総括評価	
				評価 S～C	総括評価 S～C			評価 S～C	総括評価 S～C	評価委員会の指摘・提言	
4	運営管理	(1)	民間企業の知見を活用した特色ある教育活動を実施しているか	S	A	重点目標を適切に設定し、民間の知見を活用した運営を行った結果、自己評価では「S」を付けることができた。また、大阪YMCAのグローバルネットワークを活用し、継続的な高度人材の採用に取り組むとともに、万博を通じて連携した諸外国や多様な企業からの支援を適切に活用し、国際交流行事の開拓を進め、学校の魅力向上に努めた。		S	A		
		(2)	学校経営計画の策定、学校評価、学校評議員について、適切に実施されているか	A		学校経営計画の策定、学校評議員会（年3回）の開催、学校評価は適切に実施されている。事業計画書等により適切に予算計画が立てられ執行されている。		A			
		(3)	生徒、保護者、教職員等のアンケート結果や意見、提案などを運営に反映しているか	A		生徒、保護者への学校生活全般に関するアンケートが実施され、アンケート結果が保護者・生徒及び教職員のからの意見や提案が学校運営に活かされている。また、保護者会設立に向けた準備会を複数回開催し、学校が保護者と連携し、学校支援の在り方について検討した。		A			
		(4)	ホームページ等を活用するなど、積極的な情報公開・情報発信に努めているか	A		学校ホームページやSNS（Facebook）、YouTube等のメディアを活用するとともに、メディア取材の受け入れも行い、特色ある教育活動の情報発信に努めている。一方で、情報発信に係る校内手続きに一部不備が見られたほか、一部の指定書類の情報公開が遅れた。		B			
		(5)	地域との交流活動への積極的な取組みや地域の活性化に寄与する取組み、実践内容・教育手法等を他の府立学校へ普及させる取組みについて、積極的に計画・実施ができているか	A		地域講座の開講などを通じて地域交流を促進しつつ、学校視察や教員研修を通じてIB教育の普及に取り組んだ。府立学校教員の研修受け入れやIBセミナーの開催、アカデミックフェアの公開実施等を通じて、大阪府の学校教育の振興に努めた。また、公開授業については、派遣研修生や初任者を対象として実施した。		A			
5	その他	(1)	第三者委託している業務について、委託先の管理を適切に行えているか（第三者委託に必要な手続き、指揮監督等を行うためのルールの整備など）	A	A	委託業者への管理は、第三者委託に必要な手続き等が適切に実施されている。		A	A		
		(2)	個人情報保護について、法令、事業報告書、協定書等に基づき適切な対策が図られているか	A		法令、協定書等に基づき、個人情報保護について対策が図られている。		A			
		(3)	秘密の保持について、法令、事業報告書、協定書等に基づき適切な対策が図られているか	A		法令、協定書等に基づき、秘密の保持について適切な対策が図られている。		A			
		(4)	業務に関して作成した文書について、適正な管理が行われているか	A		業務に関して作成した文書について、適正な管理を行なっている。		A			
		(5)	管理代行料について、経理規程に基づく経理事務を行うとともに、出納にかかる一連の状況について 書面として管理しているか	A		経理代行料については、経理規程に基づく経理事務を適切に行い、出納にかかる状況を書面およびデータで適切に管理している。		A			
		(6)	管理代行料について、管理に必要な経費のみに使用するとともに、効果的かつ効率的な執行を行っているか	A		管理代行料について、学校の管理に必要な経費について精査され、効果的かつ効率的に執行されている。		A			

年度評価 (S・A・B・C)	A
-------------------	---